

釣竿による感電に注意！

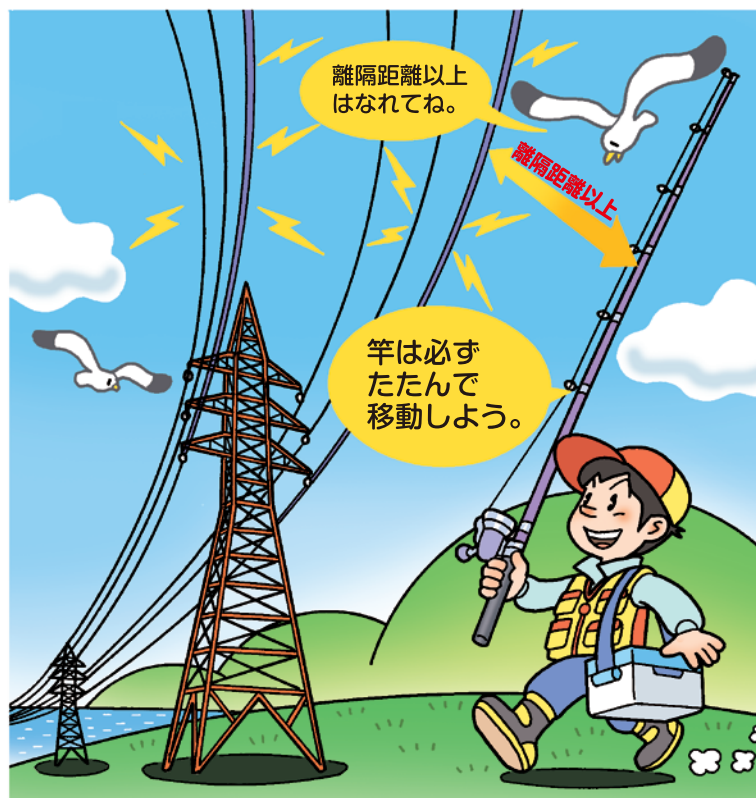
Q さわ 触らなくても感電するの？

A さわ 触らなくても感電するよ。

釣竿は、継いだ長い竿のまま持ち歩かないことです。特に、カーボン製の釣竿は、ガラス製のものよりも通電しやすくなっています。過去には、実際に釣竿を持った人が感電・死亡したケースがあります。**竿先が直接**接触しなくとも、**接近するだけで危険です。**

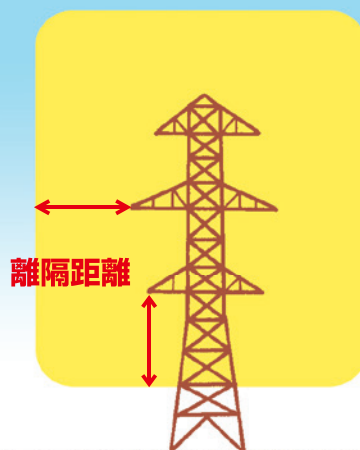
このように電線から安全のために離れなければいけない距離を**離隔距離**（りかくきょり）といいます。

電線の高さは、5m～6m程度の場所もあるため釣竿の長さでも十分届き、感電することがあります。



送電線との離隔距離は電圧(ボルト)ごとに異なります。

送電線の電圧と離隔距離



送電電圧 [キロボルト]	離隔距離 [m]
22～33	3
66～77	4
110～154	5
187～220	6
275	7
500	11

釣り場の移動や、**踏切・線路**（ふみきりせんろ）を渡る時には、必ず釣竿をたたんで行動してください。

ルールを守って感電や事故のない釣りを楽しみましょう。